

住みたい空き家はホームページで

空き家紹介制度がスタート

市では、都市部からの移住者、いわゆる「ふるさと暮らし」を希望する方々に対して、空き家情報を提供する『空き家紹介制度』を創設しました。



空き家の紹介や補助金など、ふるさと暮らしについては
<http://www.city.takayama.lg.jp/chiikishinkou/hurusatogurasi.html>

飛驒高山ふるさと暮らし

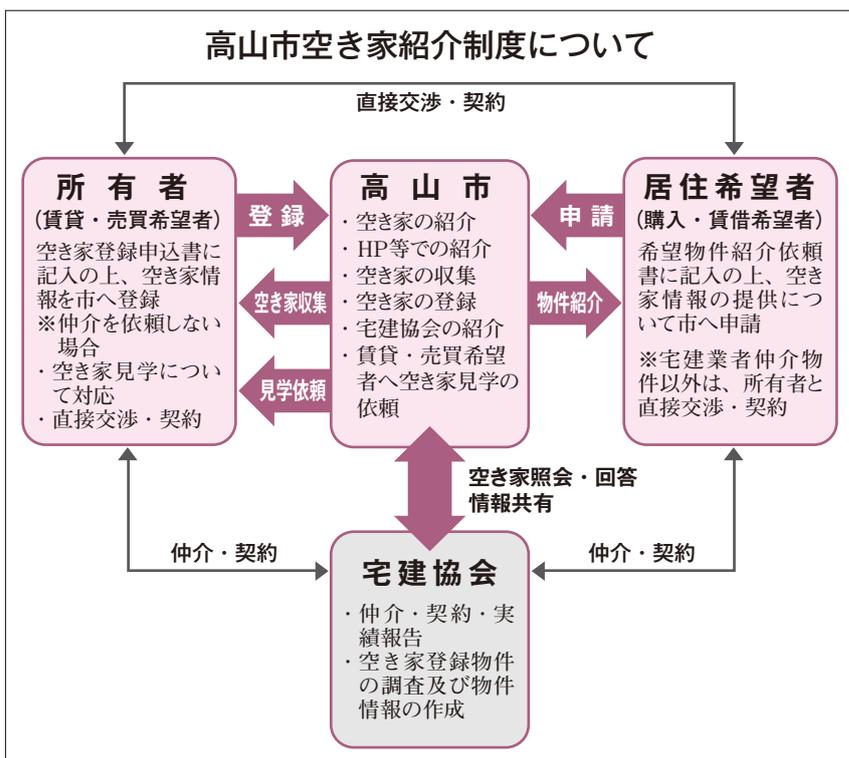
検索

空き家を登録し 希望者に紹介

空き家をお持ちで移住者に借りたい・売りたいと考える所有者の方は、市または岐阜県宅建物取引業協会飛驒支部（宅建協会）に「空き家紹介」の登録を申請します。登録された空き家は、外観の写真や部屋の間取り、位置図など詳しい内容を、ホームページで公開するとともに、相談窓口を訪れた方に対して情報を提供します。

空き家の登録や情報収集、入居希望者の見学など、市と宅建協会が連携して、売りたい方（貸したい方）と移住したい方の橋渡し役となり、高山市への移住・二地域居住を推進していきます。

高山市空き家紹介制度について



なぜ移住交流を 促進するのか

人口減少時代、過疎化が進む農山村地域においては、集落機能の維持が危ぶまれています。

一方、ライフスタイルの変化などにより、都市部の人々の間には「静かにのんびり暮らしたい」「自然環境の恵まれた場所に住みた

い」など、生活環境の向上を求める傾向が強まっています。こうした地域の実情と都市部住民のニーズをマッチングさせることで、都市農村交流を促進し、農山村地域の交流人口を増加させるとともに、新たな活力によるビジネスモデルの構築と地域の活性化が期待できます。